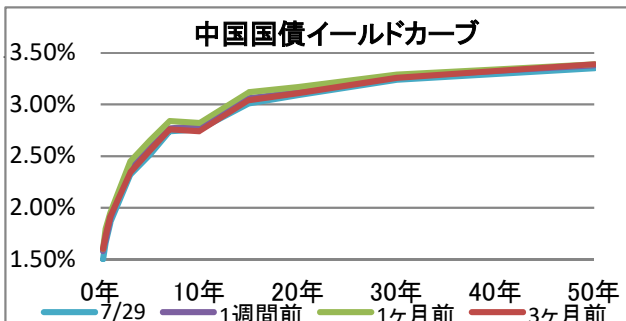
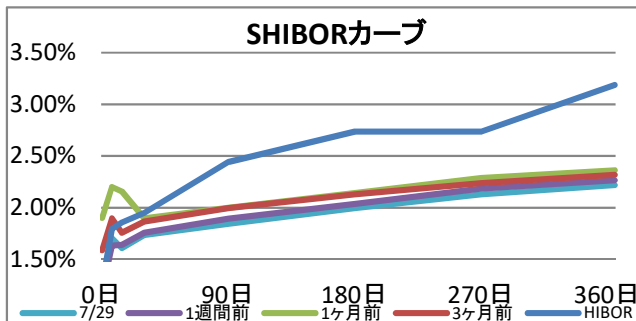


基準レート		2022/7/29	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7437	-0.0085
	JPY/CNY	5.0154	+0.0928
SHIBOR	3M	1.8460%	-0.0470%
国債利回り	10年	2.76%	-0.03%
上海総合指数		3,253.24	-16.73



(1) 概況

国際金融市場では、注目された米FOMCが予想通り+0.75%の利上げを実施したものの、経済指標や消費者心理の悪化等に加え、米GDPが2四半期連続でマイナスとなったことから債券利回りは低下に転じ、株式市場はIT企業業績を確認して一段高となった。外為市場では、米国の景況感悪化に伴う過度の利上げ懸念の後退によるドル高修正局面が続いている。

中国金融市場では、中国政府の下半期の政策目標において金融緩和維持を確認すると、短期資金の金利水準が更に低下し、債券利回りも短期を中心に一段と低下。株式市場も内外の景気先行き懸念に加え、米中首脳テレビ会議で経済面での関係改善が実現しなかったこと等から上値の重い展開となり、外為市場でも人民元の上値は重い展開となった。

中国では、政治局会議や国务院常務会を中心に下半期の政策について議論され、ゼロコロナ政策維持の下での経済成長目標については最良の結果を得るべく努力するとし、財政金融政策により需要不足を補う方針が示された。財政面では地方专项債の積極活用や政府による不動産基金設立計画等が見込まれている。金融面では、银保监会がカウンターシクリカル調整機能の発揮や地方专项債による地方政府の銀行資本補充や農村信用社改革、住宅市場の安定発展等を掲げ、证监会は資本市場（株式、債券）の健全発展と改革開放を推進し、外貨管理局は改革開放推進を強化するとし、外為市場の実体経済支援に関する通知により為替ヘッジに関する規制を緩和。このほか、スイスと中国の株式相互取引が開始され、アリババ等のNY証券上場中国企業が香港への上場を申請し、HKMAは人民元流動性機能を拡充（上限額引き上げ、取引時間延長、上乗せ金利引き下げ）。また、2021年の中国のデジタル経済規模が世界第2位となり、国务院はデジタル経済連絡会議制度を制定。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日280億元に対し、新規リバースオペ160億元を実施し、ネットで120億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・工業企業利益（6月）は、前年比+0.8%（5月、同-6.5%）と、3ヶ月ぶりにプラスに転じた。これは、ロックダウン解除による経済活動再開等により、自動車や消費財を中心に大幅に回復したことによる。ただし、回復ペースは緩慢。
- ・国家統計局PMI（7月）は、製造業49.0%（6月、50.2%）、非製造業53.8%（同、54.7%）、総合52.6%（同、54.3%）に低下。2ヶ月ぶりに50を下回った製造業は、全ての規模、ほぼ全てのサブ指数で50%を下回る厳しい内容。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2540%	1.2300%	2.0000%	
1W	1.7050%	1.6000%	1.5500%	1.3000%
2W	1.6100%	1.6000%	1.6000%	1.4000%
1M	1.7370%	2.1000%	1.5500%	1.4100%
3M	1.8460%	4.8000%	2.0000%	1.6500%
6M	1.9960%	2.1960%	2.0000%	1.8800%
9M	2.1310%			2.0100%
12M	2.2180%	3.0000%		2.0900%

過剰な流動性供給に対する期待はないものの、翌日物金利水準の低下や現状の金融政策が長く維持されるとの期待により、金利水準は一段と低下。ただし、ターム物は1ヶ月の1.60%前後の出合いを除き限定的。

NCDも、金利上昇リスクへの懸念がないことを背景に金利水準の低下が進み、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.4%前後、3ヶ月は1.65%前後、6ヶ月は1.8%台後半、1年は2.0%台半ばで取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	2.25%	2.28%
1W	2.30%	2.35%
1M	2.45%	2.55%
3M	2.80%	3.00%
6M	3.00%	3.20%
12M	3.40%	3.70%

FMOCとパウエル議長の会見、更にその後の予想を下回るGDP等により、FRBの急速な利上げへの懸念が後退したものの、中国国内市場では国外からの投資資金が大きく流入していた時期に比してドル資金の需給が引き締まり気味となっており、ターム物の金利水準は従来比やや高めで推移。ターム物は1ヶ月の2.5%前後での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.50%		1.72%	1.78%	1.96%
6M	1.66%		1.85%	1.89%	2.08%
1Y	1.86%	1.98%	2.10%	2.13%	2.36%
3Y	2.32%	2.53%	2.62%	2.69%	3.05%
5Y	2.51%	2.70%	2.93%	3.00%	3.69%
10Y	2.76%	3.02%	3.44%	3.62%	4.39%

債券市場では、下半期の政策目標が明らかになる中、短期市場の金利低下が一段と進んだことや、欧米での金融引き締めによる景気後退リスクが意識されて債券利回りが大きく低下したこともあり、中国でも短期債を中心にイールドカーブは下方にシフトし、10年債利回りは2.76%（前週末比-0.03%）に低下。米国債利回りはFOMCとその後のGDPを受けて一段と低下しており、米国10年国債利回りが2.65%に低下したことから、中国国債利回りの上回り幅は+11bp（前週+4bp）に拡大している。

イールドカーブは、短期債を中心に低下し、スティーピングが更に進んだ。クレジットスプレッドは信用債利回りが中期までは大きく低下したことから、中期ゾーンまでは縮小が続いたものの、長期では小幅ながら拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-14.5 / -14.3
1M	-59.0 / -58.5
3M	-179.0 / -177.0
6M	-365.0 / -360.0
9M	-502.0 / -497.0
12M	-580.0 / -576.0

対ドル基準レートは6.7437と前週末比-85pipsのドル安元高、対円基準レートは5.0154と同+928pipsの円高元安と、対ドルでは引き続きドルの底堅さを映じた元安水準の出設定が続いている。中国国内市場では、過度の米金融引締め見通しの後退によるドル全面高修正局面が続いているものの、月末決済需要等によりドルが底堅く推移する中、FOMC後に一時6.71台まで元高が進んだものの、6.74台まで戻して週末を迎えている。

先物は、米ドル金利の先高観がやや後退したことを映じてスワップ幅は上昇（マイナス幅縮小）に転じており、週後半には-500台後半まで戻している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.80%		1.60%
6M	1.90%	2.00%	1.73%
9M	1.97%	2.13%	1.80%
1Y	2.04%	2.23%	1.85%
3Y	2.32%	2.63%	1.95%
5Y	2.52%	2.94%	
7Y	2.68%	3.12%	
10Y	2.84%	3.29%	

スワップ金利は、債券利回りと短期金利の低下を受けて小幅な低下を続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期金利の低下を受けた小幅な縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。